

自治会「八清親和会」のエリアである八清住宅は、戦時中、陸軍が現在の立川に建設した「陸軍航空工廠」の従業員向けに建設された住宅街であることは、会報「八清親和会トビックス令和2年第13号」で詳しく紹介しましたが、この住宅完成記念に制作されたカラー写真（現在の「絵はがき」）を子供の頃見た記憶が残っており探していましたが、偶然にも2世代のある会員が、このカラー写真の一部（5枚）を所蔵していたことが分かりました。

今は、八清住宅住民も2世代3世代の時代となり、戦後転入してきた住民が多くなり、当時の八清住宅や歴史を知る人が少なくなりました。

この八清住宅は、当時の陸軍の後押しを受けて住宅街開発を一任された八日市屋清太郎が、昭和13年に当時の桑畑（旧昭和村福島827）に建設を着手し、僅か3年の昭和16年10月に完成させました。

この住宅街は、三軒長屋など830戸ほどの賃貸住宅のほか、多くの男女工員寮（独身寮）があり、市場や銭湯、映画館、郵便局、公園、幼稚園などが併せて整備され、この完成を記念して住宅、寮、各種福利施設などを紹介した「八清住宅完成記念」写真（現在のカラー絵はがき）が制作されました。

また、自治会も当時「となり組」と称する町会で、現在の八清親和会の前身となる町会が、昭和16年10月から結成準備され、第一町会から第五町会の組織ができ、この五町会を「箕町内連合会」として統一しました。この町内会は、戦後の昭和23年秋迄続き、翌年の昭和24年に解散し、同じ年の4月に、新しく今日の自治会「八清親和会」が結成誕生し、今日に至っています。

所蔵がされていることが分かった写真（絵はがき）はセットの一部、5枚ですが、このように80年の歴史ある八清住宅の当時を知ることができる貴重な写真ですので紹介します。

紹介するのは5枚の写真（現在の絵はがき）と、この写真の風景、施設の場所を示した現在の住宅地図です。



当時の八清映画劇場外観と内観（円形写真）
（現在の八清公園北側入口向かって左側の集合住宅地の一角）



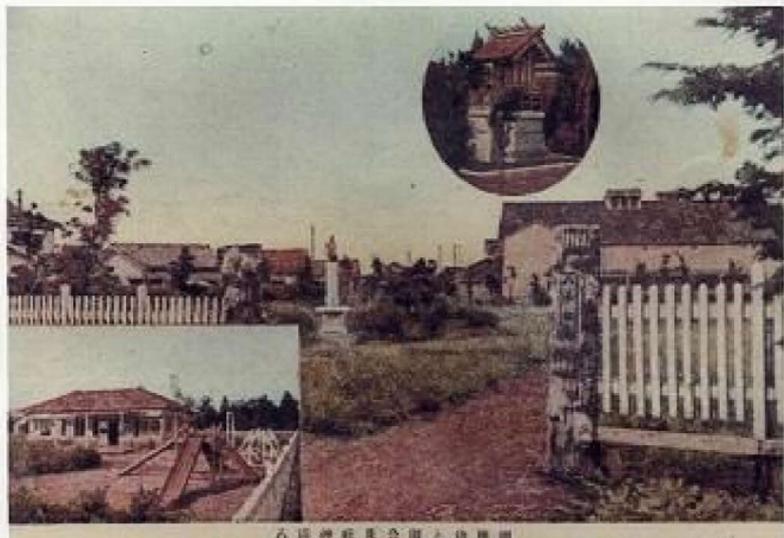
八清住宅管理事務所と興亜の泉

当時の八清住宅管理事務所と興亜の泉（右端写真）
 （現在の玉川会館（東部出張所）と八清ロータリーの八清由来記念碑のある場所）



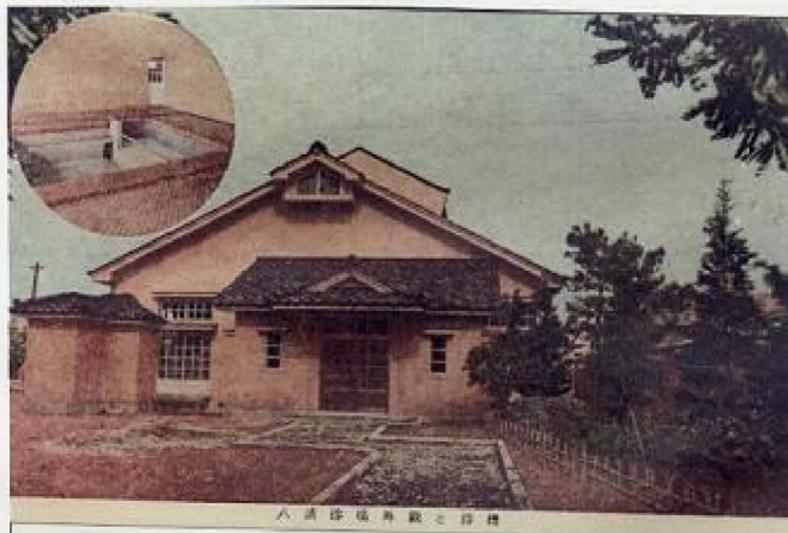
郵便局と住宅街の一部

当時の郵便局（右上の写真）と八清住宅街の一部
 （現在の玉川郵便局と八清ロータリー噴水（右上写真）、ならびにベンチのある
 2ヶ所の憩いの場と北方向の江戸街道に接続する放射道路6本の内1本）



八幡神社及公園と幼稚園

当時の八幡公園と幼稚園（左下写真）、昭和神社（右上丸写真）
 （現在の八幡公園とあけの星幼稚園（左下写真）ならびに昭和天満宮（右上丸写真）



八幡浴場新築と浴槽

当時の八幡浴場と浴槽（左上丸写真）
 （現在の昭和湯）